

かごしま救急医療 遠隔画像診断センターのご案内

Kagoshima Emergency Medical Remote
Imaging Diagnosis Center



<http://www.kago-qq.net>

鹿児島県医師会

高度な画像診断で、 地域に質の高い医療サービスを

本県の特性

南北 600 km と広大な鹿児島県では、医師をはじめとする医療資源が鹿児島市に集中しており、画像診断を行う放射線科医も同様です。このため、地域の中核的な医療機関等で高度な画像診断を受けられるシステムの構築が有効で、病気の早期発見や的確な治療につながるなど、地域の患者が質の高い医療を受けることができます。

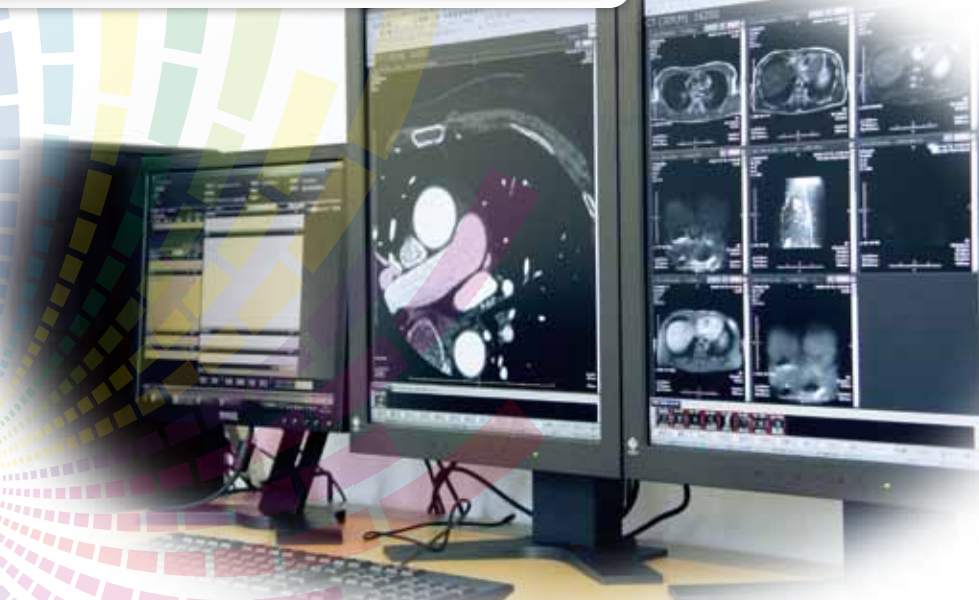
救急医療を取巻く環境

医療資源が鹿児島医療圏に集中する本県では、どの地域においても、一刻を争う重篤な患者が迅速に適切な医療を受けられる救急医療体制の充実・強化が重要な課題です。しかし、高度救急医療を担う鹿児島医療圏は、県内全域から患者の搬送が集中し救急医療の現場が疲弊している状況です。そのため、県内各地域において、救急を要する様々な症例の患者に 24 時間で迅速かつ適切に対応できる救急医療体制の充実・強化が必要です。

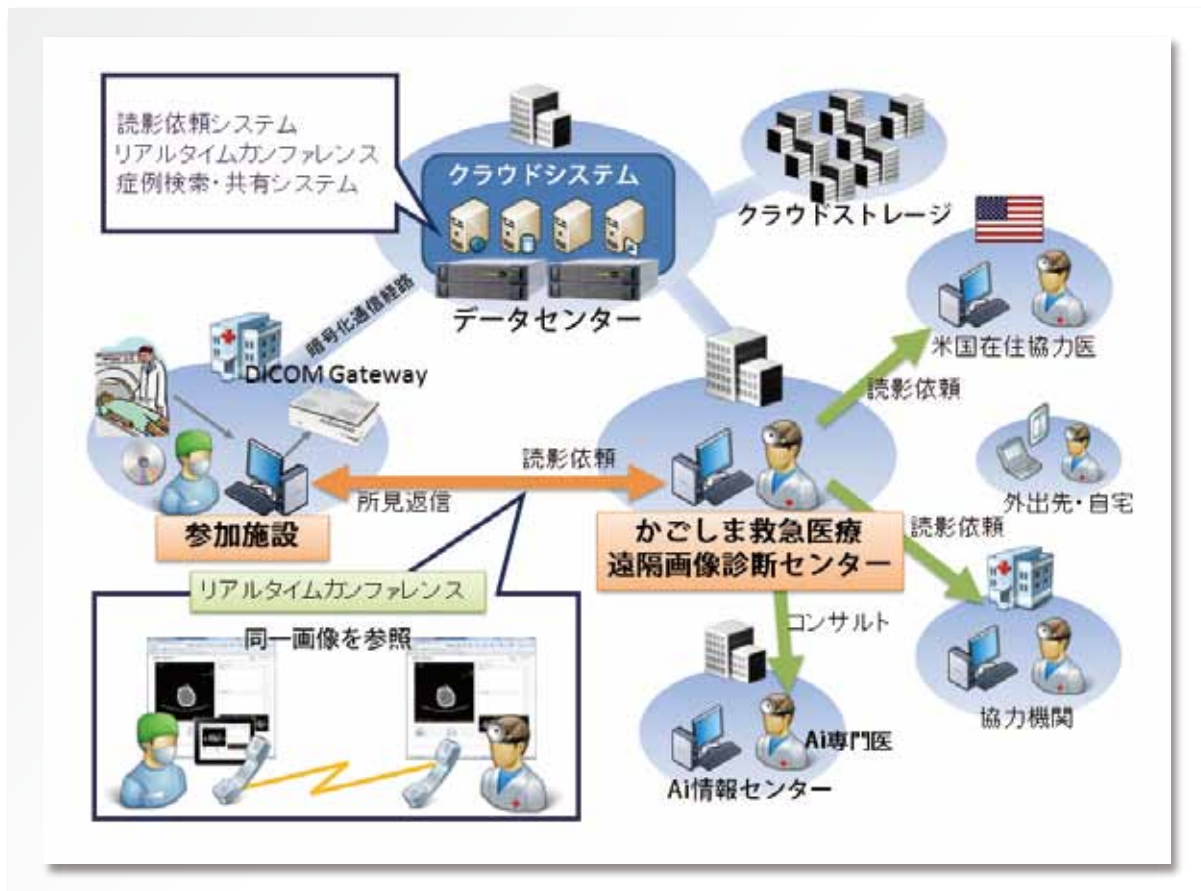
遠隔画像診断とは

CT（コンピュータ断層撮影装置）や MRI（磁気を利用した撮影医療機器）、X 線などの画像を、離れた場所にいる読影専門医へ通信回線を使用して送信し、読影専門医による診断レポートや助言により診療できる遠隔医療の一分野です。

総面積 9,188 km²
離島面積 2,488 km²
有人離島 28
救命救急センター
鹿児島市立病院のみ



本サービスを構成するシステムの特徴



◆遠隔画像診断に適した『シンクライアント・システム』

救急医療を支援するために県内の医師だけでなく、海外や他県の医師と連携し、24時間の読影体制を確立するために応答性の良いシンクライアント・システムを採用

◆依頼者と読影医間を結ぶ『リアルタイム・カンファレンスシステム』

専用のシステムがなくとも双方が同じ画像をみながら電話で所見について話せるシステムを採用

◆離島・僻地を考慮した『高速画像転送システム』

県内のインターネット環境を考慮し、ADSLのような低速な回線環境下でも迅速な応答を返すための専用技術「画像プロキシング」を採用

◆死因究明率を向上する『Autopsy imagingシステム』

ご遺体をCT撮像し読影することで死因究明率を向上させるシステムを導入。
CPAOA時の異常死届出判断のリスク軽減のみならず、警察や海上保安庁などが取り扱う不審死に関する依頼に応えることが可能。また裁判などの証拠として第三者の公正な意見を取り入れるべくAi情報センターと連携

◆24時間365日連続稼働とセキュアなデータ保護を実現する

『無停止システム』 『分散ストレージ』

医療システムを稼働させるシステムとして無停止型のサーバシステムによるクラウドシステムを採用。また先の東日本大震災を教訓とし、全国7か所のデータセンターにデータを分散保護するクラウドストレージサービスを採用



アクセス

Access



かごしま救急医療
遠隔画像診断センター

かごしま救急医療遠隔画像診断センター

Kagoshima Emergency Medical Remote Imaging Diagnosis Center

〒890-0053 鹿児島市中央町 13 番 1 号
(熊本ファミリー不動産鹿児島ビル 6 階)

TEL 099-210-5999

FAX 099-210-5899

E-mail : info@kago-qq.net URL : <http://www.kago-qq.net>

かごしま救急医療遠隔画像診断センター システム概要

特徴 24時間365日いつでも読影可能 救急医療にも対応できる体制を整備

● 読影専門医等

県内外の放射線科専門医と連携

- ・ 山本 正二医師 (Ai 情報センター代表理事・Ai 学会理事長、
前 千葉大学医学部附属病院放射線科 講師)
- ・ 医療法人一誠会 三宅病院
- ・ 鹿児島県内協力医師

● 高速画像転送システム

画像プロキシ機能搭載型 DICOM Gateway を導入
救急・夜間及び離島の通信環境を考慮し、軽量・高速性を追求

● 医師とのコミュニケーションツール

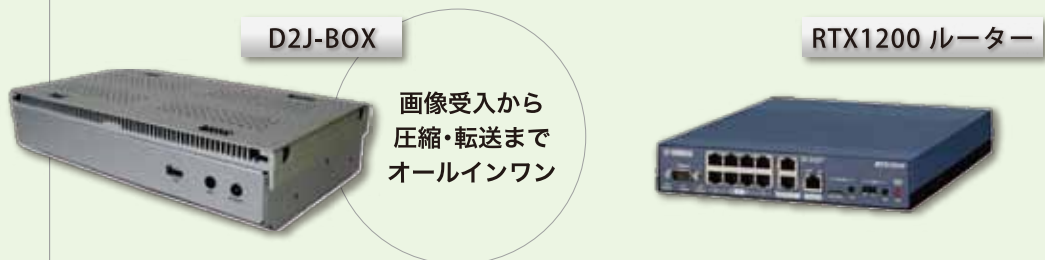
依頼者と読影医とのリアル・オンラインカンファレンスを実現
依頼者側と読影医が同一のシステムは不要
iPad でも参照可能



DICOM画像584枚280MB画像転送時間
光回線はもちろん、ADSL回線でも15分以内クリア！

システム導入にかかる費用

- ・インターネット環境が整っていること（院内負担）
- ・D2J-BOXとRTX1200ルーターは、平成25年度までに導入した場合は、契約を解除するまで無償（貸与）にて配布（通常65万円程度）



◆ PACS メーカー、モダリティメーカーへの費用は、一切発生しません。

利用料金 ※すべて消費税別途

- | | |
|--------|--------------|
| ・月額基本料 | 30,000 円 / 月 |
| ・読影料 | |
| 救急 | 4,000 円 / 件 |
| 一般 | 3,000 円 / 件 |

システム導入準備

- ① システムメーカーより院内環境に伴う質問書を送付いたします。
- ② 回答内容確認後、院内情報担当者システムメーカーとの院内環境調査確認の為、打合せを行います。
- ③ 院内環境に問題がなければ、機器設置作業となります。
- ④ 機器設置及び設定終了後、通信テストを行います。
- ⑤ 全ての作業が終了すれば、システムサービス稼働となります。



かごしま救急医療遠隔画像診断センター

〒890-0053 鹿児島市中央町13番1号
(熊本ファミリー不動産鹿児島ビル 6階)

TEL 099-210-5999

FAX 099-210-5899

E-mail : info@kago-qq.net